

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	5	B	20122006	五十嵐鈴

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API を使ったアプリやゲームが作ったけど「動きませんでした、完成しませんでした」は評価に値しません。単位取得は、きちんと動くものが評価対象です。API を使うこと、そしてプログラミングは 1 年生からの講義で学ぶことをすべて活用すれば実現できるはずです。

設問(1)

この科目で学んだ内容を第 3 者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

API のエンドポイントは、クライアントが特定の情報にアクセスするための URL です。リクエストは、HTTP メソッド (GET、POST、PUT、DELETE など) と必要な情報 (クエリ文字列、ヘッダー、ボディ) で構成されています。これによって、クライアントとサーバーの間の通信が効率的になります。

検索機能では、クライアントはリクエストに検索条件を含めて効率的に必要なデータを取得することができます。

レスポンスデータの設計では、データの階層構造や関連データのリンク方法、適切なフォーマットとエラー表現が考えられます。これによって、クライアントはデータを正しく処理し、エラーが発生した場合に適切に対処できます。

HTTP の仕様に関しては、ステータスコード、キャッシュ、メディアタイプなどが重要だと考えました。これらに従うことで、API の性能と安定性が向上します。

API の設計をする上で、セキュリティ対策も重要でした。認証や認可の実装、データの暗号化、不正なリクエストへの対処などがあります。これらの対策を実装することで、セキュリティを強化することができシステムの信頼性が確保されます。

設問(2)

レポート(4)をもとに、API 連携作成または API を用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

名称

天気情報リマインド

概要(作ったものの説明)

毎朝、各都市一部の天気情報を LINE にリマインドします。

サービス説明 (動作がわかるように画面を交えて説明すること)



毎朝その時の天気と気温を LINE にリマインドされます。

レポート(4)の記載内容の実現状況 (原則 100%となること)

実現状況 : 100% !!!